

コレクション・ 都市モダニズム詩誌

第Ⅱ期 全15巻

【監修】和田博文 東洋大学教授

すべての
モダニズム文化の発火点が、
詩雑誌だった。
代表的都市モダニズムの稀覯詩誌を
テーマ別に集成。

- 各巻に掲載
- ◆最新書き下ろしエッセイ
- ◆詳細な解題
- ◆各テーマに関する関連年表
- ◆主要参考文献一覧



刊行のことば

東洋大学教授

和田博文

都市モダニズム詩へのアプローチは、ダダイズム・シュールレアリスム・新即物主義などのイリズムや、短詩運動・新散文詩運動などのムーヴメントからだけ可能なのではない。隣接する文化諸ジャンルとの関係に着目すると、詩は新たな姿で浮かび上がる。映画との交通をクローズアップすれば、シナリオやシネポエムから刺激を受けた言語実験が見えてくる。美術との交通を意識化すれば、コラージュや色彩の問題が浮上する。音楽との交通を前景化すれば、リズムの問題や、童謡・民謡・歌詞を含めた言葉と音の出会いが明らかになる。同じ短詩型文学でも俳句との交通は、定型はもとより、フランス俳諧詩や戦争と、詩人がどう向き合ったのかという問題に私たちを導いてくれる。

となり、山中散生はシュールレアリスムのオルガナイザーになった。海港都市の開放的な風が吹く神戸では、竹中郁や山村順の『羅針』が新しい形式に取り組み、中桐雅夫が編集する『LUNA』は都市モダニズム詩を吸収しながら、戦後詩への胎動を始めている。古都と目される京都でも、画家の天野隆一が『青樹』『麵麩』を創刊して、単なる地方詩誌とは異なるモダンな詩のステージを形成していた。

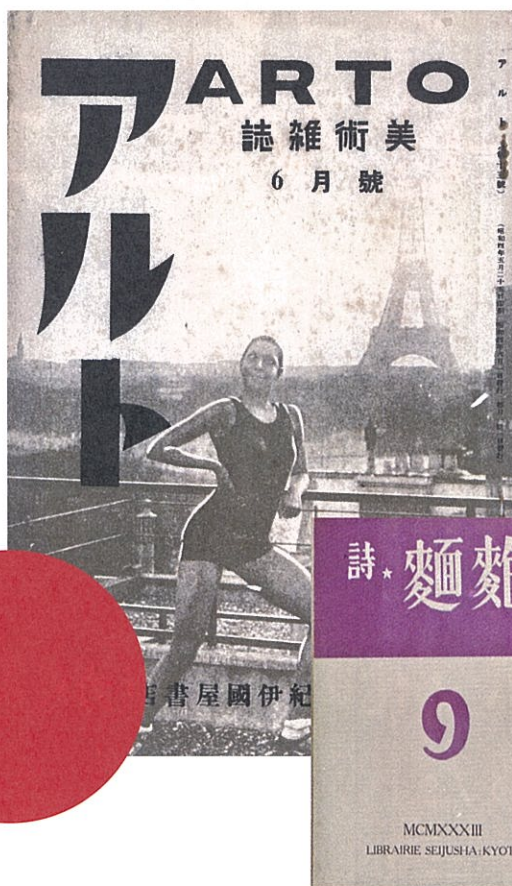
『コレクシオン・都市モダニズム詩誌』全三〇巻の刊行によって、一九二〇年代～一九四〇年代前半の詩の全体性を視野に収めることが可能となる。それは特定の詩人を追いかけるだけでは手にすることのできない、この時代の問題系へ私たちが開かれることを意味している。都市モダニズム詩から戦後詩へ、どのような遺伝子が受け継がれ、どのような切断が行われたのかというドラマは、その先に初めて姿を現すはずである。



コレクション・

都市モダニズム詩誌

第Ⅱ期



全巻の構成

本書の特色

- 代表的な都市モダニズムの稀覯詩誌をテーマ別に復刻。
- 代表的な都市モダニズムの稀覯詩誌をテーマ別に復刻。新たな調査を行い、現存しているものを可能な限り収録。
- 当時のモダニズム詩人は、文学のみならず写真・美術・映画などの西洋文化の紹介の中心的存在であり、これらの雑誌は、たんなる詩の雑誌ではなく、モダン都市文化の交通の網目の中心に存在するものとしてきわめて重要な役割を果たした。
- 各巻末にエッセイ・関連年表・解題・人名別作品一覧・主要参考文献を付す。

16 映画と詩Ⅰ 早川芳枝編

北川冬彦を中心とする「シナリオ研究十人会」は、機関誌として『シナリオ研究』を発行。詩における映画的表现の可能性を探り、萩原朔太郎らが、シネマを寄稿した。

- ◆『シナリオ研究』第1冊～第4冊 (一九三七～一九六三)
- ◎エッセイ「映画と詩——無声映画の時代」
- ◇関連年表 ◇解題 ◇人名別作品一覧
- ◇主要参考文献



多くの詩人を同人として擁する『シナリオ研究』は、映画シナリオの文学・芸術化を目指すシナリオ文学運動において中心的役割を担った。

25 京都のモダニズムⅡ 熊谷昭宏編

京都詩壇のオルガナイザー、天野隆一は、『麵麩』、『青樹』(第二次)を発行し、京都におけるモダニズム詩運動を推し進めた。

- ◆『麵麩』(一九三六～一九三三)
- ◆『青樹』(第二次)(一九四四～一九五七)
- ◎エッセイ「一九三〇年代の京都のモダニズム」
- ◇関連年表 ◇解題 ◇人名別作品一覧 ◇主要参考文献



26 神戸のモダニズムⅠ 名木橋忠大編

若き日の竹中郁が活躍した『横顔』、『羅針』(第一次)は、岡本唐貴らと交流しながら、神戸・東京のモダニズム・ネットワークを形成した。

- ◆『横顔』(一九四二～一九五二) 第1号～第5号、第7号、第9号～第10号

◆『シナリオ研究』第5冊〜第8冊

(一九六六〜一九四〇・九)

◎エッセイ「映画と詩——トーキーの時代」

◇関連年表 ◇解題 ◇人名別作品一覧

◇主要参考文献

18 美術と詩 I 小泉京美編

棚夏針手が参加した『君と僕』、三科造型美術協会の『造型』、紀伊國屋書店刊行の『アルト』を舞台にモダニズム詩と美術が交差する。

◆『君と僕』(一九三二〜一九三三・八)

◆『造型』(一九五・四)

◆『アルト』第1号〜第7号

(一九二八・五〜一九二八・二)

◆詩誌掲載作品

◎エッセイ「詩とアヴァンギャルド美術」

◇関連年表 ◇解題 ◇人名別作品一覧

◇主要参考文献

19 美術と詩 II 川勝麻里編

紀伊國屋書店の田辺茂一を中心に創刊された『アルト』は、美術家の木村荘八、今和次郎、中川紀元らを編集同人として擁し、最先端の芸術思潮を紹介した。

◆『アルト』第8号〜第13号(一九二八・二〜一九二九・六)

◆詩誌掲載作品

◎エッセイ「詩と都市モダニズム美術」

◇関連年表 ◇解題 ◇人名別作品一覧

◇主要参考文献



20 音楽と詩 野呂芳信編

一九一〇年代、北原白秋らが民謡に注目したことをきっかけとして、詩と音楽を結びつける様々な試みが展開した。

◆詩誌掲載作品(民謡・童謡・リズム論などのアンソロジーとして編集)

◎エッセイ「音楽と詩」

◇関連年表 ◇解題 ◇人名別作品一覧 ◇主要参考文献

21 俳句・ハイクと詩 I 和田桂子編

モダニズム詩の俳句への接近は、岩佐東一郎の『風流陣』、吉川則比古の『鶴』といった詩人による俳句誌を生み出した。



◆『羅針』へ第一次(一九四二〜一九六二)
◆詩誌掲載作品

◎エッセイ「一九二〇年代の神戸のモダニズム」

◇関連年表 ◇解題 ◇人名別作品一覧 ◇主要参考文献

27 神戸のモダニズム II 季村敏夫編

パリから帰国した竹中郁により『AIR POCKET』、『一家』、『羅針』(第二次)が立て続けに創刊され、華々しい展開を見せた神戸モダニズムは、『神戸詩人』(第四次)への弾圧事件によって終わりを迎える。

◆『AIR POCKET』(一九〇・五〜一九〇・一〇)

◆『一家』(一九三・四)

◆『羅針』へ第二次(一九四二〜一九六二)

◆『神戸詩人』へ第四次◇第1号、第3号〜第5号

(一九三七〜一九三九・二)

◎エッセイ「一九三〇年代の神戸のモダニズム」

◇関連年表

◇解題 ◇人名別作品一覧

◇主要参考文献



28 モダニズム第二世代 和田博文編

『MADAME BLANCHE』、『椎の木』で活躍した若手モダニストたちは、饒正太郎を軸とする『20世紀』に集結した。

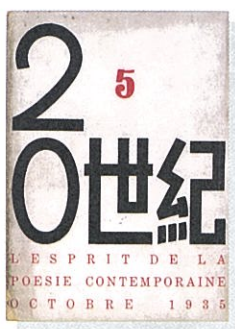
◆『20世紀』(一九四二〜一九六二)

◆詩誌掲載作品

◎エッセイ「モダニズム第二世代の実験室」

◇関連年表 ◇解題 ◇人名別作品一覧

◇主要参考文献



29 戦後詩への架橋 I 田口麻奈編

戦後詩の歴史は、戦争下で発行された鮎川信夫らの『荒地』、中桐雅夫らの『LUNA』において、すでに始まっていた。

◆『荒地』第1号〜第2号、第4号〜第5号

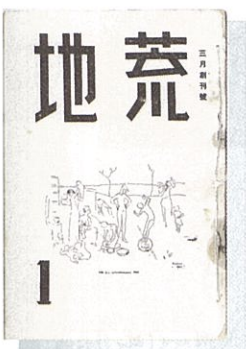
(一九四二〜一九四三・五)

◆『LUNA』第4号、第8号〜第13号

(一九三七・二〜一九三九・四)

◆詩誌掲載作品

◎エッセイ「戦前の荒地派とモダニズム」



◆『風流陣』第1冊〜第35冊

(一九五〇〜一九五九・四)

◆『鶴』(一九四・九〜一九四・二)

◎エッセイ「フランス俳諧詩と都市モダニズム詩」

◇関連年表 ◇解題 ◇人名別作品一覧

◇主要参考文献



22 俳句・ハイクと詩Ⅱ 青木亮人編

八十島稔が編集を引き継いだ『風流陣』、『鶴』の流れを汲んで創刊された『鷺』において、詩人の俳句は、さらなる深化を見せた。

◆『風流陣』第36冊〜第65冊(一九五・五〜一九四・二)

◆『鷺』(一九四・七〜一九四・二)

◆詩誌掲載作品

◎エッセイ「戦争下の都市モダニズム詩と俳句」

◇関連年表 ◇解題 ◇人名別作品一覧

◇主要参考文献



23 名古屋のモダニズム 井原あや編

モダニズムを代表する詩人・春山行夫を輩出した名古屋モダニズムは、『青騎士』、『機械座』、『ウルトラ』を舞台に展開した。

◆『青騎士』(一九三・九〜一九四・六)

◆『機械座』(一九七・二〜一九七・二)

◆『ウルトラ』(一九五・二)

◎エッセイ「名古屋のモダニズム」

◇関連年表 ◇解題 ◇人名別作品一覧

◇主要参考文献



24 京都のモダニズムⅠ 外村彰編

天野隆一ら、美術学校の学生を中心に発行された『青樹』(第一次)は、京都モダニズムの出発点となった。

◆『青樹』〈第一次〉(一九五・一〜一九三・二)

◆詩誌掲載作品

◎エッセイ「一九二〇年代の京都のモダニズム」

◇関連年表 ◇解題 ◇人名別作品一覧

◇主要参考文献



30 戦後詩への架橋Ⅱ 宮崎真素美編

中桐雅夫、鮎川信夫、田村隆一、三好豊一郎らによる『LE BAL』、『詩集』、『故園』、『蝶』は、戦前の都市モダニズム詩から戦後詩への架橋となった。

◆『LE BAL』〈※「LUNAL」号数を継続〉

第14号〜第22号、第24号(一九八・六〜一九四・八)

◆『詩集』〈※「LE BAL」号数を継続〉

第25号、第27号〜第31号(一九四・二〜一九四・五)

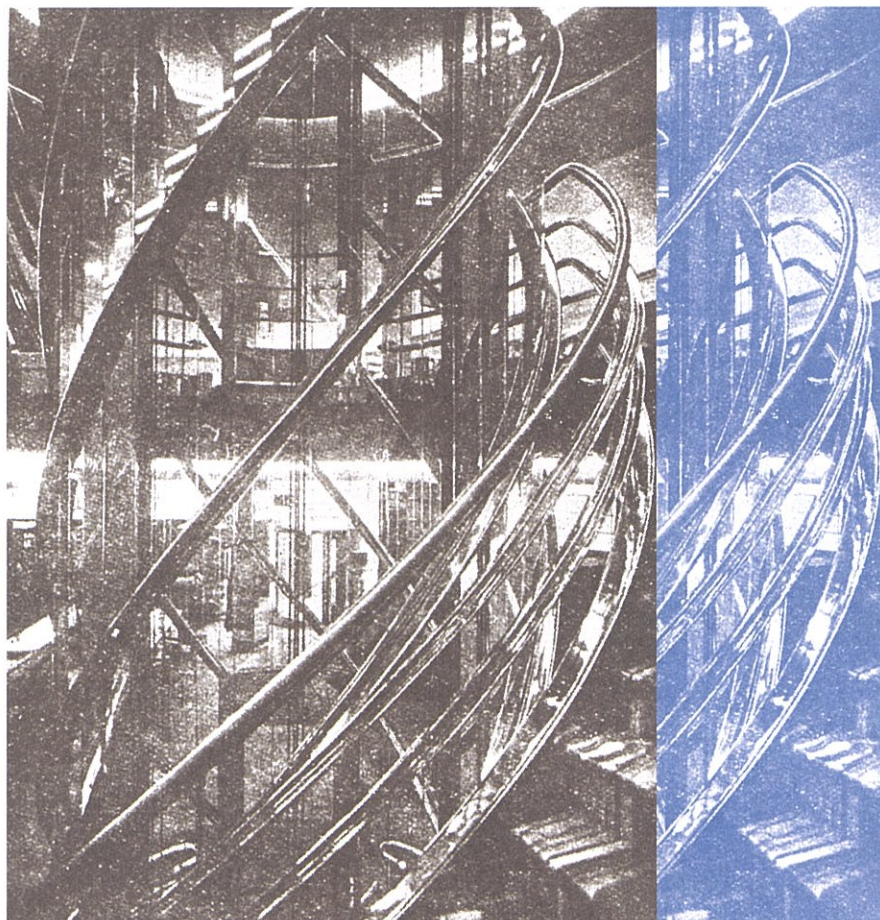
◆『故園』(一九四・三〜一九四・九)

◆詩誌掲載作品

◎エッセイ「戦前の荒地派と戦争」

◇関連年表 ◇解題 ◇人名別作品一覧

◇主要参考文献



コレクション・和田博文監修

都市モダニズム詩誌 第Ⅱ期 全15巻

●全15巻揃定価393,750円(375,000円) ISBN978-4-8433-3760-8 C3392 A5判/上製

★第1回・全3巻 2011年12月刊行予定 ■揃定価78,750円(本体7,500円/各本体25,000円) ISBN978-4-8433-3761-5

- 第16巻 映画と詩 I 早川芳枝編 ISBN978-4-8433-3766-0
- 第17巻 映画と詩 II 水谷真紀編 ISBN978-4-8433-3767-7
- 第18巻 美術と詩 I 小泉京美編 ISBN978-4-8433-3768-4

★第2回・全2巻 2012年4月刊行予定 ■揃定価52,500円(本体50,000円/各本体25,000円) ISBN978-4-8433-3762-2

- 第19巻 美術と詩 II 川勝麻里編 ISBN978-4-8433-3769-1
- 第20巻 音楽と詩 野呂芳信編 ISBN978-4-8433-3770-7

★第3回・全3巻 2012年10月刊行予定 ■揃定価78,750円(本体7,500円/各本体25,000円) ISBN978-4-8433-3763-9

- 第21巻 俳句・ハイクと詩 I 和田桂子編 ISBN978-4-8433-3771-4
- 第22巻 俳句・ハイクと詩 II 青木亮人編 ISBN978-4-8433-3772-1
- 第23巻 名古屋のモダニズム 井原あや編 ISBN978-4-8433-3773-8

★第4回・全4巻 2013年4月刊行予定 ■揃定価105,000円(本体10,000円/各本体25,000円) ISBN978-4-8433-3764-6

- 第24巻 京都のモダニズム I 外村 彰編 ISBN978-4-8433-3774-5
- 第25巻 京都のモダニズム II 熊谷昭宏編 ISBN978-4-8433-3775-2
- 第26巻 神戸のモダニズム I 名木橋忠大編 ISBN978-4-8433-3776-9
- 第27巻 神戸のモダニズム II 季村敏夫編 ISBN978-4-8433-3777-6

★第5回・全3巻 2013年10月刊行予定 ■揃定価78,750円(本体7,500円/各本体25,000円) ISBN978-4-8433-3765-3

- 第28巻 モダニズム第二世代 和田博文編 ISBN978-4-8433-3778-3
- 第29巻 戦後詩への架橋 I 田口麻奈編 ISBN978-4-8433-3779-0
- 第30巻 戦後詩への架橋 II 宮崎真素美編 ISBN978-4-8433-3780-6

コレクション・都市モダニズム詩誌

好評発売中

第Ⅰ期 全15巻 [監修] 和田博文

●各巻定価26,250円(本体25,000円)

1●短詩運動(小泉京美編) 2●アナーキズム(竹内栄美子編) 3●シュールレアリスム(鶴岡善久編) 4●ダダイズム(佐藤健一編)
 5●新散文詩運動(藤本寿彦編) 6●新即物主義(和田博文編) 7●主知的抒情詩の系譜 I(大塚常樹編) 8●主知的抒情詩の系譜
 II・昭和の象徴主義 I(国生雅子編) 9●昭和の象徴主義 II(木股知史編) 10●レスプリ・ヌーボーの展開(杉浦静編) 11●都
 市モダニズム詩の大河 I(勝原晴希編) 12●都市モダニズム詩の大河 II(阿毛久芳編) 13●アルクイユクラブの構想(宮崎真素美
 編) 14●VOUクラブの実験(西村将洋編) 15●VOUクラブと十五年戦争(澤正宏編)

関連企画

コレクション・モダン都市文化 [監修] 和田博文

※既刊(2011年12月現在):第1巻~第75巻/A5判上製/各巻定価18,900円(本体18,000円)



〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-6

TEL.03 (5296) 0491

FAX.03 (5296) 0493

http://www.yumani.co.jp/

e-mail eigyou@yumani.co.jp

●特におすすめしたい方

大学図書館・公共図書館・近代文学、演劇、美術、映画、風俗史、メディア史などの研究者・研究機関ほか。

ゆまに書房 Tel.03 (5296) 0491/Fax.03 (5296) 0493 年 月 日

コレクション・都市モダニズム詩誌 第Ⅱ期 全15巻

- 第1回・全3巻 第2回・全2巻
- 第3回・全3巻 第4回・全4巻 第5回・全3巻

セット

取扱店

お名前

ご住所

TEL ()

※ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。

11.11/01.10000.H